

★**社会の授業**で防災教育を実施！～**教師による防災教育**〈社会科第2弾！！〉～

3月13日、唐津市立鏡山小学校で教師による防災教育を実施して頂きました。

武雄河川事務所では、今年度より私達が提供した指導計画案をもとに「理科」「社会科」の授業で教師自身に授業を行って頂く取り組みを行っており、**社会科での実施は2校目**です。

鏡山小学校では5年生の単元「自然災害の防止」の中で身近な川の**松浦川**を題材に授業を行って頂きました。

当日は全4時間授業の1時間目という事で教頭先生に授業を行って頂き、5年生担任の先生方が傍聴という形で進められていきました。教頭先生は、生徒たちの想像力を大切にされており、**授業では私達が提供した写真や資料の他に動画等を準備され、電子黒板上でこれら資料を織り交ぜながら進められていきました。**

「めあて」についての説明後、グループに分かれて資料について話し合いを行いました。生徒たちが今まで学習した**国語や理科での知識を出し合いながらグループでまとめ**を行っていた事に関心しました。生徒たちは災害に関して興味を持っている事を感じる事が出来ました。

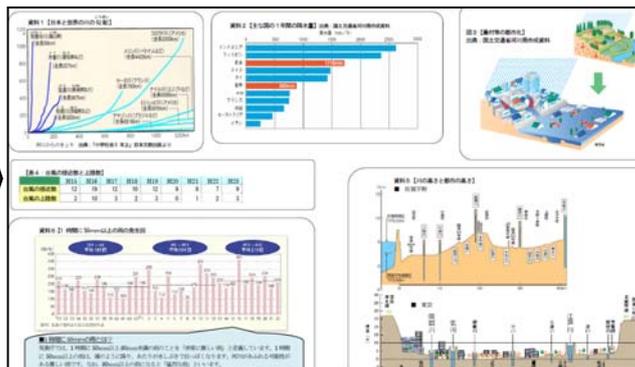
《授業風景》

1時間目：本日のめあて「**どうして日本は風水害が多く発生するのだろうか？**」

①「本日のめあて」について説明



②資料を見てグループ毎に話し合い



生徒へ配布された資料は、武雄河川事務所が提供した資料を先生が抽出されたものです。

最初は机上でグループ毎に話し合っていました・・・



グループでの意見を他のグループへ説明したり、



5年生の先生方へ質問したり、



河川管理者へ質問したりしました。



資料を見ての話し合いでは「日本は台風の時期に雨が多いため他の国と比べて降水量が多い」など、活発な意見が出て、45分の授業では終わらず残りは宿題となりました。

武雄河川事務所では、教師による防災教育の取り組みを今後も支援していきたいと思ひます。